

軽防協ニュース速報 号外

2006年1月27日

軽種馬防疫協議会 事務局

(JRA 馬事部防疫課)

アメリカ合衆国における EHV-1 感染症（神経型）の発生による競馬開催中止について

2006年1月26日、メリーランド・ジョッキー・クラブ事務局は、EHV-1 感染の発生によりローレルパーク競馬場（メリーランド州）で行われる予定の今月29日および2月4日の開催を中止することを発表した。

今月初旬から現在まで、メリーランド州ローレルパーク競馬場近郊のピムリコ競馬場において、馬ヘルペスウイルス1型（EHV-1）感染症の発生が続いている。3頭が起立不能の神経症状を呈して安楽死処置され、また、これらとの同居馬を検査したところ、8頭に感染が認められたため隔離された。このことから、今月22日にはピムリコ競馬場全体に隔離措置がとられた。一方、近隣諸州の競馬主催者は、メリーランド州への遠征禁止あるいは遠征馬の帰きゅう拒否などの措置をとっている。

これらの影響により、ローレルパーク競馬場では開催に必要な出走馬の確保が困難になったことから、今月25～29日および2月1～5日に予定されていた各5日間の連続開催を、それぞれ4日間に短縮して実施するとしている。

米国では、昨年2月にも EHV-1 発生によりミシガン州ノースビルダウンズ競馬場の開催が中止されている。また、昨年12月にはケンタッキー州のターフウェイパーク競馬場においても発生が確認され、隔離措置がとられた。

（参考）メリーランド州の競馬

メリーランド・ジョッキー・クラブの主催により、ピムリコ競馬場およびローレルパーク競馬場で開催が実施されている。出走馬の内訳は、70%がいずれかの競馬場所所属馬であり、その他は他州からの遠征馬である。